

令和7年度
養父市民アンケート調査結果報告書

養父市
経営政策・国家戦略特区課

令和8年5月

1 調査目的

本アンケートは、「養父市まちづくり計画」で示している数値目標及びKPI（重要業績評価指標）の現状値の一部を把握するとともに、養父市民の「養父市での暮らしやすさ」や「市政に対する満足度」を把握し、今後の市政運営の基礎資料とするために実施したもの

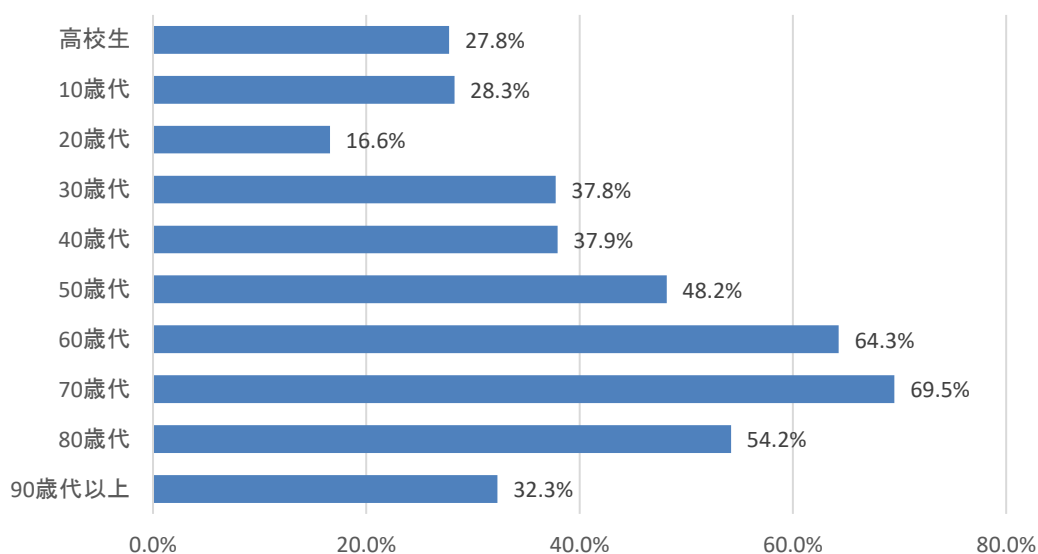
2 調査概要

調査対象	無作為に抽出した 15 歳以上の市内在住者 2,495 人
調査方法	郵送にて配布し、郵送回答またはウェブ回答にて回収
実施期間	令和 8 年 2 月 2 日～令和 8 年 2 月 27 日
回収数	合計 1,137 人（回収率 45.6%） ※前回から 0.2 ポイント増加 （内訳） 郵送回収 882 人（35.4%） ウェブ回収 255 人（10.2%）

<世代別回収率とウェブ回収率>

単位：%

区分	配布数	回収数	全体回収率	ウェブ回収数	ウェブ回収率
高校生	144	40	27.8%	20	50.0%
10 歳代	46	13	28.3%	5	38.5%
20 歳代	271	45	16.6%	19	42.2%
30 歳代	296	111	37.8%	52	46.9%
40 歳代	427	162	37.9%	69	42.6%
50 歳代	356	171	48.2%	49	28.7%
60 歳代	339	218	64.3%	29	13.3%
70 歳代	292	203	69.5%	8	3.9%
80 歳代	262	142	54.2%	4	2.8%
90 歳代以上	65	21	32.3%	0	0.0%
無回答	—	11	1.0%	0	0.0%
合計	2,495	1,137	45.6%	255	22.4%



3 その他

結果の百分率は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100%と一致しない場合がある。

4 調査結果

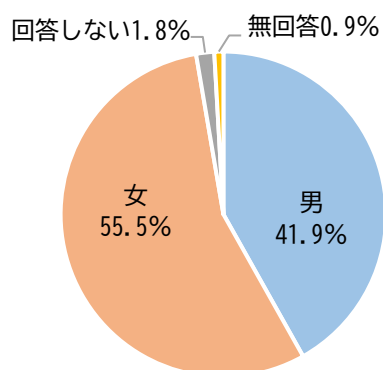
はじめに、あなた自身のことやご家族について

問1 性別をお答えください。

性別の回答者数は、男性 476 人 (41.9%)、女性 631 人 (55.5%)、回答しない 20 人 (1.8%) であった。
 配布数に対する回答率は、男性 39.3%、女性 49.2% であった。

単位：%

男性	41.9
女性	55.5
回答しない	1.8
無回答	0.9

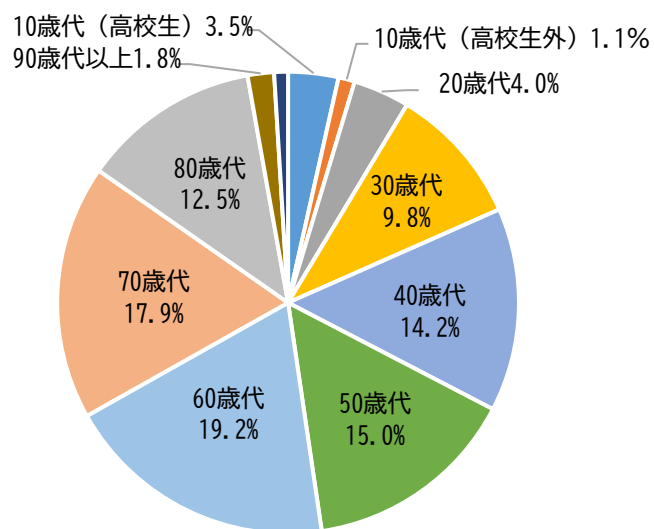


問2 年齢をお答えください。(令和8年1月26日時点)

年代別の回答者数は、10 歳代 (高校生) が 40 人 (3.5%)、10 歳代 (高校生以外) が 13 人 (1.1%)、20 歳代が 45 人 (4.0%)、30 歳代が 111 人 (9.8%)、40 歳代が 162 人 (14.2%)、50 歳代が 171 人 (15.0%)、60 歳代が 218 人 (19.2%)、70 歳代が 203 人 (17.9%)、80 歳代が 142 人 (12.5%)、90 歳代以上が 21 人 (1.8%) であった。

単位：%

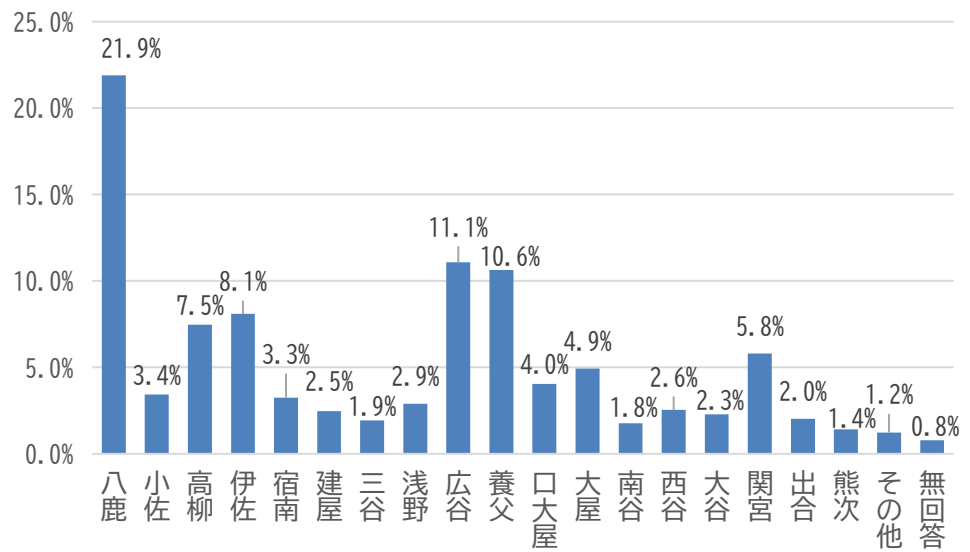
10 歳代 (高校生)	3.5
10 歳代 (高校生以外)	1.1
20 歳代	4.0
30 歳代	9.8
40 歳代	14.2
50 歳代	15.0
60 歳代	19.2
70 歳代	17.9
80 歳代	12.5
90 歳代以上	1.8
無回答	1.0



問3 あなたは現在どちらの地域にお住まいですか。(自治協単位)

単位：％

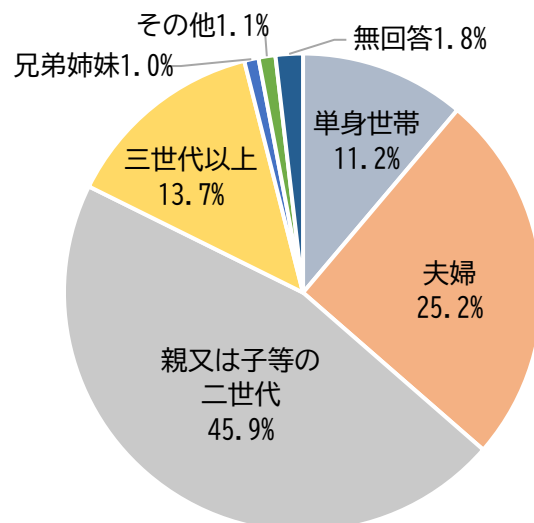
八鹿	21.9
小佐	3.4
高柳	7.5
伊佐	8.1
宿南	3.3
建屋	2.5
三谷	1.9
浅野	2.9
広谷	11.1
養父	10.6
口大屋	4.0
大屋	4.9
南谷	1.8
西谷	2.6
大谷	2.3
関宮	5.8
出合	2.0
熊次	1.4
その他	1.2
無回答	0.8



問4 あなたの「同居」している家族の形態はどれに当たりますか。

単位：％

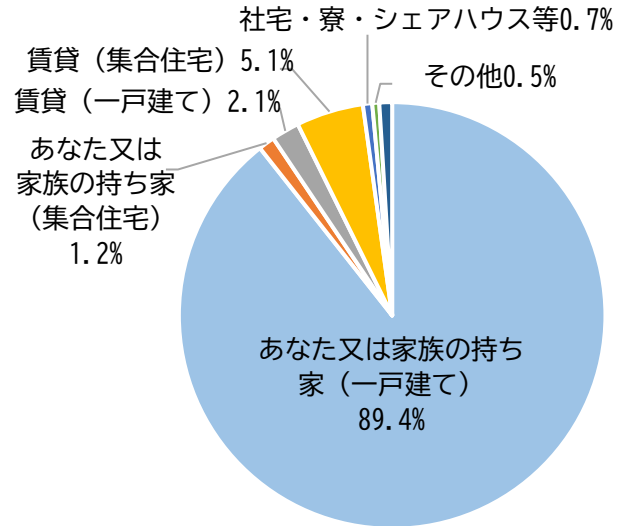
単身世帯	11.2
夫婦	25.2
親と子等の二世帯	45.9
三世帯以上	13.7
兄弟姉妹	1.0
その他	1.1
無回答	1.8



問5 あなたのお住まいの居住形態はどれにあたりますか。

単位：%

あなた又は家族の持ち家（一戸建て）	89.4
あなた又は家族の持ち家（集合住宅）	1.2
賃貸（一戸建て）	2.1
賃貸（集合住宅）	5.1
社宅・寮・シェアハウス等	0.7
その他	0.5
無回答	1.0

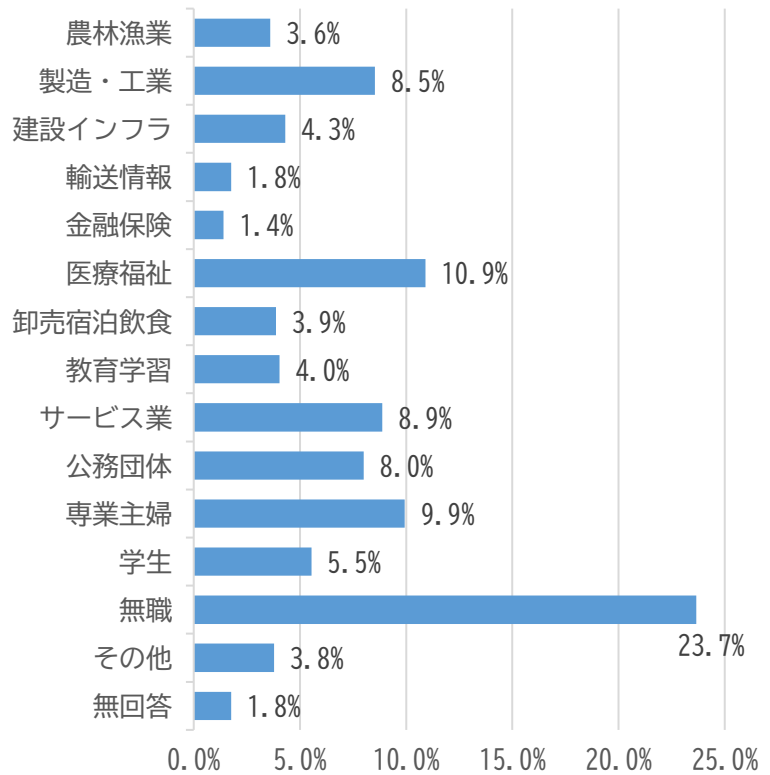


問6 あなたの主な職業をお答えください。

60歳以上の回答が多いため、無職の割合が高くなっている。

単位：%

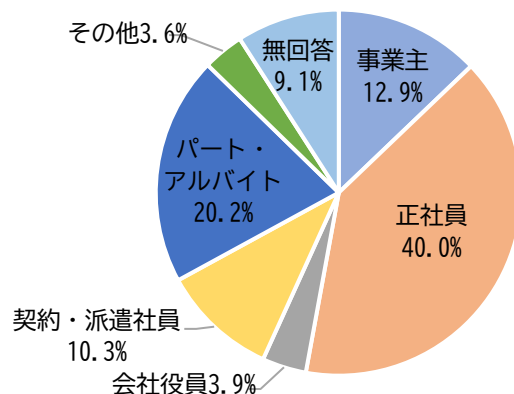
農林漁業	3.6
製造業・工業	8.5
建設・インフラ関係	4.3
運輸・情報通信業	1.8
金融・保険業	1.4
医療・福祉	10.9
卸小売・宿泊・飲食業	3.9
教育・学習支援業	4.0
その他サービス業	8.9
公務・団体	8.0
専業主婦（夫）	9.9
学生	5.5
無職	23.7
その他	3.8
無回答	1.8



問7 あなたはどのような立場で仕事をされていますか。（問6の専業主婦（夫）、学生、無職を除く。）

単位：%

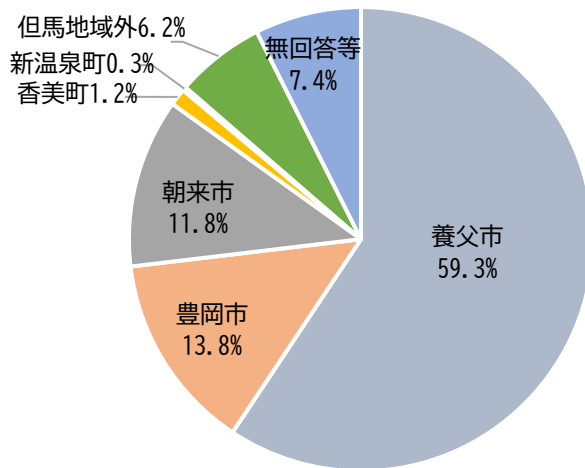
事業主	12.9
正社員	40.0
会社役員	3.9
契約・派遣社員	10.3
パート・アルバイト	20.2
その他	3.6
無回答	9.1



問8 あなたのお勤め先・通学先はどの地域ですか。(問6の専業主婦(夫)、無職を除く。)

単位：%

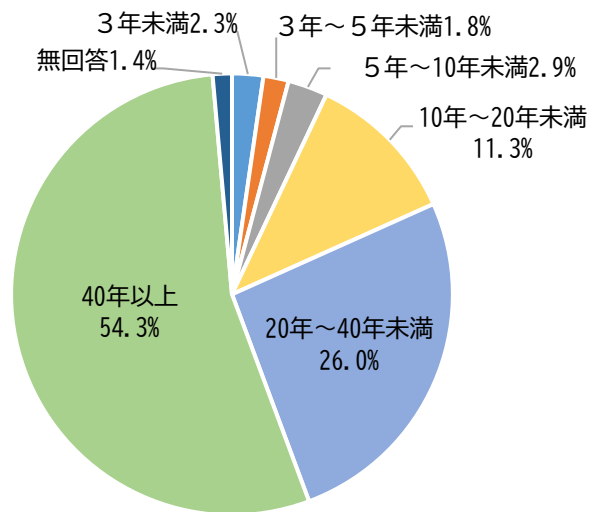
養父市	59.3
豊岡市	13.8
朝来市	11.8
香美町	1.2
新温泉町	0.3
但馬地域外	6.2
無回答等	7.4



問9 あなたは養父市に延べ何年お住まいですか。

単位：%

3年未満	2.3
3年～5年未満	1.8
5年～10年未満	2.9
10年～20年未満	11.3
20年～40年未満	26.0
40年以上	54.3
無回答	1.4



養父市まちづくり計画の指標について

問 10 養父市で生活する上で、暮らしやすさや環境について「満足度」を教えてください。

各項目の「思う」「まあ思う」の合計を R5～R7 の3年間で比較したところ、「買い物が便利」が R5 から 4.1 ポイント増加、「望む仕事がある（している）」が 3.5 ポイント増加、「自然災害のリスクが低い」が 2.3 ポイント増加している。一方、「親族・友人が近くにいる」が 8.1 ポイント減少、「近所づきあいがあり安心である」が 4.1 ポイント減少しており、人口減少などの影響により、親せきや地域住民同士のつながりに対する安心感が薄れていることがうかがえる。

また、「公共交通が使いやすい」「公園や遊び場が整備されている」「まちに将来性や魅力がある」の3項目は期間中、最も低位で推移しており、依然として課題が解決できていないことが示されている。【課題】

単位：%

区 分	肯定意見（思う・まあ思う）の合計				
	R5	R6	R7	順位	傾向
1. 緑や田園が多く自然環境が良い	84.0	83.4	83.9	1	横ばい
2. 望む仕事がある（している）	23.1	22.6	26.6	13	増加
3. 教育環境がよい	40.5	36.4	39.6	9	微減
4. 子育て環境がよい	47.4	48.1	49.5	4	微増
5. 住環境がよい	—	—	43.7	7	初
6. 医療・福祉サービスが充実している	41.7	39.5	38.4	10	減少
7. 公共交通が使いやすい	14.6	13.8	11.9	16	減少
8. 買い物が便利	25.0	26.5	29.1	12	増加
9. 通勤や通学が便利	20.1	18.3	21.8	15	微増
10. 親族・友人が近くにいる	59.9	58.1	51.8	3	減少
11. 近所づきあいがあり安心である	52.7	53.7	48.6	5	減少
12. 行事などが楽しい・継承したい	24.0	22.6	24.9	14	微増
13. 公園や遊び場が整備されている	13.1	12.0	11.5	17	減少
14. 暮らしに必要な道路が整備されている	47.2	47.2	47.3	6	横ばい
15. 公共サービス・施設が整っている	28.9	28.1	29.2	11	横ばい
16. 交通事故や犯罪が少なく安全である	68.6	65.7	67.5	2	微減
17. 自然災害のリスクが低い	37.8	38.1	40.1	8	増加
18. まちに将来性や魅力がある	11.0	8.5	10.2	18	横ばい

問 11 次の項目の中であなたの「感覚」に一番近いものを教えてください。

「現在、自分は幸せだと感じている」の肯定感（「思う」と「まあ思う」の合計）が 79.7%と一番高くなっており、「今後も養父市に住み続けたいと思っている」73.9%、「家庭・地域・職場などで自分の役割や居場所があると感じている」72.7%と続いている。一方で、「近隣のまちと比べて、養父市は若者にとって希望の持てるまちだと思っている」の否定感（「あまり思わない」と「思わない」の合計）が 80.4%と一番高くなっており、「暮らしの中で、孤独（望まない孤独）を感じることもある」72.9%、「家族や友人に養父市への移住・定住を勧めたいと思っている」68.0%と続いている。

単位：%

区 分	思う	まあ 思う	あまり 思わない	思わな い	無回答
1. 養父市は暮らしやすいまちだと感じている	12.0	54.6	25.9	6.2	1.2
2. 養父市に誇りや愛着を持って暮らしている	14.1	48.2	29.0	6.7	2.0
3. 今後も養父市内に住み続けたいと思っている	23.2	50.7	18.7	6.2	1.1
4. 家族や友人に養父市への移住・定住を勧めたいと思っている	5.4	25.1	47.3	20.7	1.6
5. 暮らしの中で、自分は地域の一員だと感じている	13.5	46.6	29.4	8.8	1.7
6. 家庭・地域・職場などで自分の役割や居場所があると感じている	19.3	53.4	21.0	4.7	1.6
7. 暮らしの中で、異なる世代の人とのつながりを感じている	13.0	42.0	33.7	9.9	1.4
8. 養父市で自分らしく暮らすことができている	15.5	52.0	24.3	6.6	1.7
9. 現在、自分は幸せだと感じている	26.2	53.5	14.2	4.8	1.3
10. 暮らしの中で、孤独（望まない孤独）を感じることもある	6.2	19.6	47.0	25.9	1.4
11. 自身で災害への備え（停電、断水、避難等）ができている	4.2	32.7	46.0	15.4	1.7
12. 市政に関する必要な情報が手元に届いている	10.3	52.1	29.0	6.6	2.0
13. 自分の仕事にやりがいや誇りを感じている	17.7	45.6	20.8	9.1	6.8
14. 自分の仕事を次の世代につなげていきたいと思っている	11.2	30.5	34.7	15.5	8.1
15. 養父市の公共交通や生活基盤（道路、上下水道等）に安心感を持っている	8.0	42.6	34.7	13.1	1.7
16. 養父市の文化・芸術活動に魅力を感じている	6.4	31.9	44.9	14.0	2.8
17. 近隣のまちと比べて、養父市は若者にとって希望の持てるまちだと思っている	2.6	14.9	52.5	27.9	2.1

問 11 のクロス集計 「現在、自分は幸せだと感じている」人の傾向について

①肯定意見での幸福度

単位：%

区 分	幸福度
家庭・地域・職場などで自分の役割や居場所があると感じている人	66.1
今後も養父市内に住み続けたいと思っている人	64.9
暮らしの中で、孤独（望まない孤独）を感じていない人	64.8
養父市で自分らしく暮らすことができている人	64.1

現在、自分は幸せだと感じている人（「思う」と「まあ思う」の合計）と各問をクロス集計したところ、各問の①肯定意見での幸福度では、「6. 居場所がある」「3. 養父市に住み続けたい」「10. 孤独を感じていない」「8. 自分らしく暮らしている」人の幸福度が高いことが分かった。

②「自分の声が市に届いたと感じた経験がある人」の幸福度 単位：%

区 分	割合
自分の声が市に届いた人で幸福度の高い人	11.9
自分の声が市に届いた人で幸福度の低い人	0.9
自分の声が市に届いていない人で幸福度の高い人	67.9
自分の声が市に届いていない人で幸福度の低い人（課題）	18.4

※無回答が0.9%

②「自分の声が市に届いたと感じた経験がある人」の幸福度では、一見すると、市に声が届いたかどうかは幸福度に関係ないように見えるが、声が届いた人で幸福度の高い人は11.9%である一方、声が届いた人で幸福度の低い人は0.9%と大きな差が認められる。市民の声を受け取り、反映させる仕組みを強化することで、声が届いていない人で幸福度の低い人(18.4%)の割合が減少する可能性や声が届いていない人で幸福度が高い人(67.9%)の幸福度をさらに高められる可能性が認められる。【課題】

問12 あなたは子どもや若者が地域全体で支えられていると感じる場面は増えていますか。

全体を通して、「分からない」31.2%、「変わらない」30.0%で6割を超えているものの、増加傾向か減少傾向かで見ると減っていると感じる人が多くなっている。どのような取組があれば地域全体で支えられていると感じる取組になるのかを当事者等の声を聴きながら検討していく必要がある。

<年代別>

単位：%

	増えている	少し増えている	変わらない	減っている	分からない	空白
10歳代（高校生）	0.8	18.5	50.4	13.4	16.8	0.0
10歳代（高校生以外）	5.6	22.2	25.0	33.3	13.9	0.0
20歳代	1.4	11.1	43.8	19.4	24.3	0.0
30歳代	2.6	18.1	27.1	24.5	27.7	0.0
40歳代	1.7	11.5	30.6	25.9	28.7	1.7
50歳代	0.3	10.1	31.3	26.3	32.0	0.0
60歳代	0.6	8.5	29.8	24.3	35.5	1.2
70歳代	0.7	6.2	29.0	27.9	31.5	4.8
80歳代	0.6	7.3	25.9	19.8	34.9	11.6
90歳代以上	1.2	7.1	17.6	23.5	29.4	21.2
無回答	0.0	9.1	27.3	9.1	34.1	20.5
総計	1.0	9.9	30.0	24.3	31.2	3.6

問 13 あなたは困ったときに頼れる人はいますか。(複数回答可)

困ったときに頼れる人として家族(90.1%)や友人(44.2%)がいるにもかかわらず望まない孤独を感じている人が家族で22.3%、友人で8.1%いることが分かる。また、望まない孤独を感じている人のうち、頼れる人が誰もいないという重大な課題を抱える人が1.1%と割合としては少ないものの人口換算すると約220人となるため、困ったときに相談できる場所の確保や周知、気軽に参加できる居場所づくりなどの取組が必要である。**【課題】**

単位：%

区分	困ったときに頼れる人	うち望まない孤独を感じることがある人
家族又は親族	90.1	22.3
友人	44.2	8.1
地域・近所の人	29.9	6.8
職場・仕事関係の人	20.0	3.0
SNSで知り合った人	1.6	0.7
行政関係者	6.4	1.8
誰もいない	2.6	1.1
その他	0.9	0.5
回答なし	0.8	0.1

問 14 あなたは病気・災害・老後などについて「何かあってもなんとかなる」と思える安心感がありますか。

「何かあってもなんとかなる」と思える安心感がある人(「とてもある」と「ややある」の合計)の割合が高かったのは90歳代72.7%、10歳代(高校生以外)69.2%、80歳代64.1%であった。

逆に「あまりない」と「全くない」の割合が高かったのは、30歳代61.3%、40歳代62.4%、50歳代55.0%であった。また、「全くない」の割合が高かったのもこの世代であり、子育て世代、現役世代の安心感が低いことがうかがえる。

<年代別>

単位：%

	とてもある	ややある	あまりない	全くない	無回答
10歳代(高校生)	12.5	42.5	40.0	5.0	0.0
10歳代(高校生以外)	7.7	61.5	23.1	7.7	0.0
20歳代	8.9	48.9	37.8	4.4	0.0
30歳代	4.5	34.2	46.0	15.3	0.0
40歳代	1.9	35.8	45.1	17.3	0.0
50歳代	4.1	40.9	38.6	16.4	0.0
60歳代	2.3	47.5	42.9	7.4	0.0
70歳代	7.4	48.8	35.0	8.4	0.5
80歳代	10.6	53.5	31.7	3.5	0.7
90歳代以上	18.2	54.5	22.7	0.0	4.5
無回答	0.0	45.5	27.3	27.3	0.0
総計	5.6	44.7	39.0	10.5	0.3

問 15 その安心感は、何によって高まるとお考えですか。

全体で見ると家族・親族が 30.7%、医療・福祉・介護サービスが 26.6%、自分自身の備え 16.2%と続いている。年代別で見ると高齢世代は「地域・近所の人」が高い、若年世代は「行政サービス」が高い、30 歳代、40 歳代で「自分自身の備え」が高いという傾向にある。若年層、中年層、高齢層で傾向が分かれるため、「なんとなくかなると思える安心感」を高めていくためには、世代ごとの取組の検討が必要である。

<年代別>

単位：%

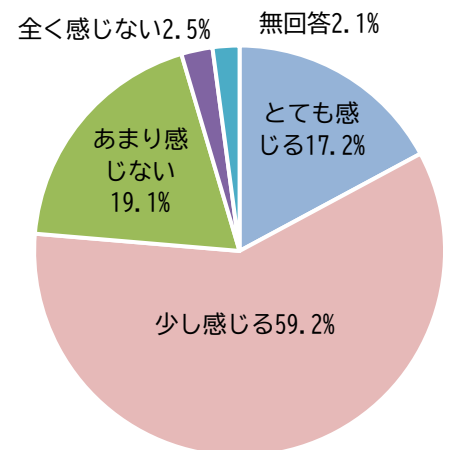
	家族・親戚	地域・近所の人	行政サービス	医療・福祉・介護サービス	自分自身の備え	特にない	その他
10 歳代（高校生）	29.0	7.5	19.4	30.1	10.8	3.2	0.0
10 歳代（高校生以外）	31.0	3.4	13.8	31.0	20.7	0.0	0.0
20 歳代	29.2	7.9	20.2	25.8	13.5	2.2	1.1
30 歳代	26.6	3.5	17.5	24.5	24.5	3.1	0.4
40 歳代	25.9	5.2	17.0	24.7	25.0	2.0	0.3
50 歳代	26.1	8.5	18.1	26.3	18.4	2.3	0.3
60 歳代	32.4	7.8	13.1	27.8	16.4	2.0	0.4
70 歳代	34.2	14.3	10.0	26.2	11.4	2.7	1.2
80 歳代	37.4	17.8	9.8	26.9	7.0	0.7	0.3
90 歳代以上	36.5	15.4	11.5	28.8	7.7	0.0	0.0
無回答	33.3	13.3	6.7	40.0	6.7	0.0	0.0
総計	30.7	9.6	14.3	26.6	16.2	0.0	0.5

問 16 あなたは日常生活の中で環境に配慮した行動が増えたと感じますか。

自然環境に配慮した行動が増えたと感じる人（「とても感じる」と「少し感じる」の合計）の割合は 76.4%で昨年度 68.8%から 7.6 ポイント増加した。

単位：%

区分	R7
とても感じる	17.2
少し感じる	59.2
あまり感じない	19.1
全く感じない	2.5
無回答	2.1



問 17 その行動を後押ししているものは何ですか。（複数回答可）

問 16 で「とても感じる」「少し感じる」と回答した人のうち、その行動を後押ししているものを聞いたところ、「自分の価値観」が最も高く 43.5%となっている。環境問題などで行動を促す場合は、個人の価値観を意識した情報発信を行うことが重要であり、並行して地域活動や市の施策を行うことが効果的であることがうかがえる。

単位：%

区分	地域ぐるみの取組	市の施策	家族や周囲の影響	自分の価値観	特にない	その他

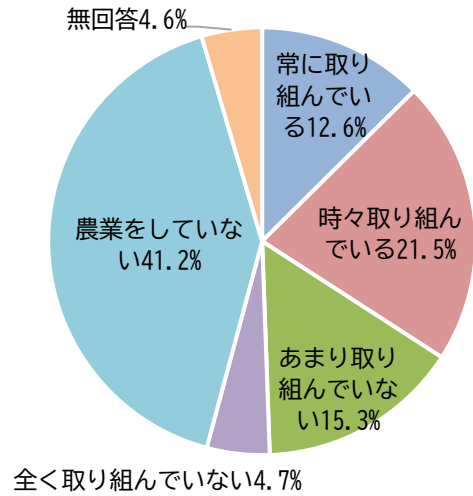
割合	37.3	27.0	31.0	43.5	4.1	1.0
----	------	------	------	------	-----	-----

問 18 あなたは、農業（家庭菜園も含みます。）をする中で環境に配慮した取組を行っていますか。

環境に配慮した農業に取り組んでいる人（「常に取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」の合計）の割合は34.1%で昨年度の32.7%と比べ1.4ポイント増加した。

単位：%

区分	R7	R6	R5
常に取り組んでいる	12.6	11.1	12.4
時々取り組んでいる	21.5	21.6	19.7
あまり取り組んでいない	15.3	16.3	17.5
全く取り組んでいない	4.7	5.4	4.8
農業をしていない	41.2	43.2	43.9
無回答	4.6	2.4	1.7

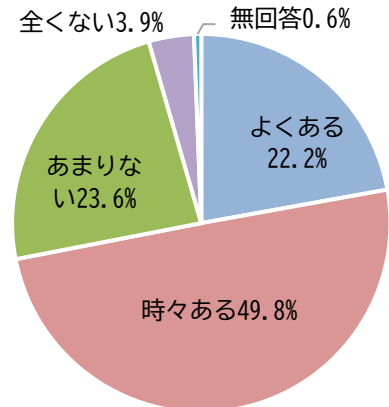


問 19 「笑うこと」は、心や体に良い効果があると言われていますが、あなたは日々の生活の中で大笑いすることがありますか。

日々の生活で大笑いすることがある人（「よくある」と「時々ある」の合計）の割合は72.0%で昨年度の67.4%と比べ4.6%増加した。

単位：%

区 分	R7	R6	R5
よくある	22.2	20.4	22.3
時々ある	49.8	47.0	44.3
あまりない	23.6	28.1	28.6
全くない	3.9	4.2	4.4
無回答	0.6	0.3	0.4



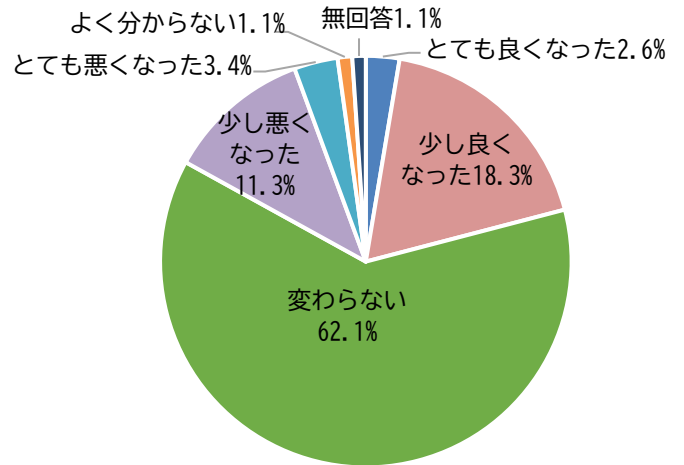
問 20 この数年間で養父市でのあなたの暮らし（生活全般）はどのように変わりましたか。

良くなった（「とても良くなった」と「少し良くなった」の合計）人の割合は 20.9%、悪くなった（「少し悪くなった」と「とても悪くなった」の合計）人の割合は 14.7%であった。

年代別で見ると、30 歳代までの若年層では、良くなった人が多く、60 歳代では差がなくなり、70 歳代では、年代別で唯一、悪くなった人が多くなっている。

単位：％

区 分	R7	計
とても良くなった	2.6	20.9
少し良くなった	18.3	
変わらない	62.1	—
少し悪くなった	11.3	14.7
とても悪くなった	3.4	
よく分からない	1.1	—
無回答	1.1	—



< 年 代 別 >

単位：％

区 分	良くなった	悪くなった	差し引き
10 歳代（高校生）	25.0	5.0	20.0
10 歳代（高校生以外）	38.5	0.0	38.5
20 歳代	28.9	8.9	20.0
30 歳代	32.4	11.7	20.7
40 歳代	21.0	17.9	3.1
50 歳代	19.3	12.3	7.0
60 歳代	15.6	15.6	0.0
70 歳代	16.7	18.2	-1.5
80 歳代	22.5	16.2	6.3
90 歳代以上	28.6	19.0	9.5
無回答	9.1	9.1	0.0
総計	20.9	14.8	6.2

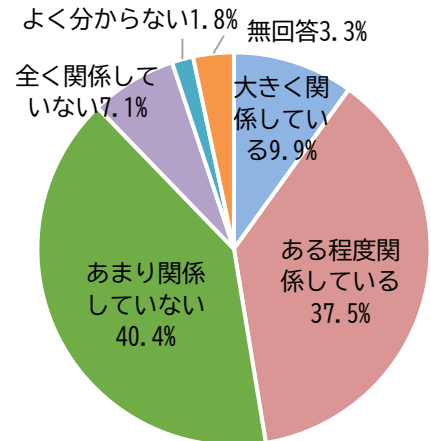
問 21 その変化（変わらない場合も）に市の取組はどの程度関係していると思いますか。

関係している（「大きく関係している」と「ある程度関係している」の合計）人の割合は 47.4%、関係していない（「あまり関係していない」と「全く関係していない」の合計）人の割合は 47.5%であった。

年代別で見ると、暮らしがよくなったと感じる 30 歳代までの若年層では、暮らしと市の取組は関係していると回答した人が多く、暮らしが悪くなったと感じる 60～70 歳代では、暮らしと市の取組は関係していないと回答した人が多くなっている。これは、市の施策が若者の暮らしの向上にはつながっているが、年代が上がるにつれて暮らしに直結した市の施策の不足又は実感が得られていない状況が課題となっている。【課題】

単位：％

区 分	R7	計
大きく関係している	9.9	47.4
ある程度関係している	37.5	
あまり関係していない	40.4	47.5
全く関係していない	7.1	
よく分からない	1.8	－
無回答	3.3	－



<年代別>

単位：％

区 分	関係している	関係していない	差し引き
10 歳代（高校生）	62.5	37.5	25.0
10 歳代（高校生以外）	76.9	23.1	53.8
20 歳代	60.0	35.6	24.4
30 歳代	48.6	42.3	6.3
40 歳代	47.5	49.4	-1.9
50 歳代	43.3	53.8	-10.5
60 歳代	46.8	49.1	-2.3
70 歳代	45.3	49.3	-3.9
80 歳代	48.6	43.7	4.9
90 歳代以上	28.6	66.7	-38.1
無回答	27.3	36.4	-9.1
総計	47.4	47.5	-0.1

問 22 過去1～2年以内で次のような市の支援や取組に触れたことがありますか。

問 20、問 21 の傾向と関連付けると、40 歳代までは子育て教育に関するものが高く 80 歳代、90 歳代は医療・福祉・介護が高くなっており、それぞれの施策が暮らしの向上に影響していることがうかがえる。

一方、60 歳代、70 歳代は避難訓練などの防災に関するものが高く、日常の暮らしに直結しない施策が一番高くなっていることが、市の施策が暮らしの向上につながらない要因となっていると考えられる。【課題】

<年代別>

単位：%

区 分	子育てや教育に関するもの	避難訓練などの防災に関するもの	文化、芸術に関するもの	医療や福祉、介護サービスに関するもの	地域活動や見守り活動に関するもの	市が行った情報発信
10 歳代 (高校生)	45.0	40.0	22.5	52.5	20.0	5.0
10 歳代 (高校生以外)	46.2	30.8	23.1	7.7	0.0	7.7
20 歳代	31.1	22.2	20.0	20.0	11.1	26.7
30 歳代	47.7	28.8	20.7	22.5	9.9	17.1
40 歳代	45.7	43.8	14.8	25.3	14.2	17.3
50 歳代	13.5	56.7	17.5	23.4	11.7	15.2
60 歳代	14.2	51.8	26.6	28.9	25.7	14.2
70 歳代	3.9	53.2	21.2	28.1	19.2	14.8
80 歳代	7.7	54.2	16.9	44.4	15.5	12.7
90 歳代以上	0.0	33.3	4.8	71.4	23.8	4.8
無回答	0.0	45.5	0.0	9.1	18.2	18.2
総計	20.9	47.5	19.7	29.6	16.8	15.0

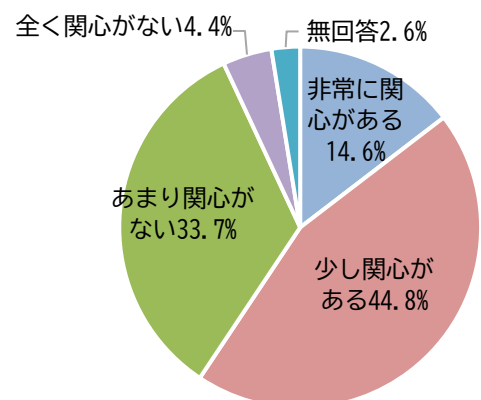
問 23 あなたは養父市の市政に関心がありますか。

市政に関心がある人（「非常に関心がある」と「少し関心がある」の合計）の割合は 59.4%で昨年度の 64.9%と比べ 5.5 ポイント減少したが、令和 5 年度の 53.6%と比べると 5.8 ポイント増加している。

年代別に見ると、年代が上がるにつれて市政への関心が高まっている中、40 歳代の関心が高く、非常に関心があるが 19.8%と年代別で第 1 位となっている。

単位：%

区 分	R7	R6	R5
非常に関心がある	14.6	19.2	14.1
少し関心がある	44.8	45.7	39.5
あまり関心がない	33.7	28.6	36.3
全く関心がない	4.4	6.0	9.5
無回答	2.6	0.5	0.7



<年代別>

単位：%

区分	高校生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
関心がある	47.5	61.5	48.9	60.4	63.6	60.8	58.7	60.1	59.9	57.1	45.5
関心がない	52.5	38.5	51.1	38.7	36.4	37.4	39.0	36.5	33.1	42.9	27.3

問 24 市政に対する関心が高くない主な理由は何ですか。(関心がない人に対する設問。複数回答)

問 23 で市政に「あまり関心がない」「全く関心がない」と回答した人に対し、その理由を聞いたところ、日常生活に影響が少ないが 43.0%、行政と直接話をする機会がない 24.7%、市政が難しい 23.8%と続いた。

年代別に見ると若年層で「市政が難しくてよく分からない」が高くなっているが、ほとんどの年代で「日常生活に影響が少ない」が一番高くなっている。

市政は自分には関係がないとは思わないが日常生活には影響が少ないため市政への関心が低いという傾向がうかがえるため、日常生活に影響を与える市政運営を行うことで市政への関心が高まる可能性が示されている。特に 60 歳代、70 歳代については、問 20 以降を通して同様の課題が顕在化している。

単位：%

区 分	割合
①市政は自分には関係ないと思う	10.6
②日常生活に影響が少ない	43.0
③市政の情報が不足している	12.0
④他のことに関心が高いため	17.1
⑤市政が難しくてよく分からない	23.8
⑥行政と直接話をする機会がないため	24.7
⑦その他	6.9

<年代別>

単位：%

区分	高校生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
①自分に関係がない	6.3	11.1	3.0	3.2	8.2	12.2	5.9	11.0	4.9	11.1	16.7
②生活に影響が少ない	15.6	22.2	27.3	29.0	25.9	23.2	38.7	36.0	39.3	33.3	33.3
③市政の情報が不足	3.1	11.1	12.1	16.1	7.1	9.8	8.4	8.0	6.6	0.0	0.0
④他の関心が高い	18.8	11.1	12.1	19.4	27.1	15.9	6.7	5.0	3.3	0.0	0.0
⑤難しい	37.5	22.2	27.3	12.9	16.5	9.8	14.3	14.0	23.0	33.3	33.3
⑥対話機会がない	18.8	11.1	12.1	14.5	11.8	20.7	21.8	20.0	18.0	22.2	16.7
⑦その他	0.0	11.1	6.1	4.8	3.5	8.5	4.2	6.0	4.9	0.0	0.0

問 25 あなたは市政にどのような方法であれば関われると思いますか。(複数回答可)

「選挙に行って投票する」56.4%、「市のイベントや活動に参加する」41.7%が上位となっている。年代別にみると④ご意見箱に投函が 20 歳代で 20.0%、①タウンミーティングが 60 歳代で 19.3%、⑤HPのご意見フォームが 30 歳代で 18.9%と他世代と比較すると高い割合となっている。

単位：%

区 分	割 合
①タウンミーティングなどの意見交換の場	12.5
②市のイベントや活動に参加する	41.7
③公募される第3者委員会や行政モニターの構成員になる	3.4
④市役所の意見箱に意見を投函する	9.7
⑤市ホームページのお問い合わせ欄から意見を送る	10.8
⑥選挙に行って投票する	56.4

⑦その他	4.7
------	-----

<年代別>

単位：％

区 分	高校生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
①タウンミーティング	15.0	15.4	6.7	2.7	13.0	11.7	19.3	14.3	9.2	14.3	0.0
②イベント参加	42.5	61.5	46.7	51.4	45.1	35.7	47.7	38.4	33.8	23.8	18.2
③第3者委員会	2.5	0.0	0.0	2.7	6.2	3.5	3.7	2.0	4.2	4.8	0.0
④ご意見箱	17.5	7.7	20.0	12.6	11.7	8.8	7.8	8.9	6.3	4.8	0.0
⑤HPご意見フォーム	5.0	7.7	8.9	18.9	17.3	11.1	11.9	7.4	4.2	0.0	9.1
⑥選挙で投票	55.0	46.2	73.3	62.2	56.2	59.6	62.4	50.2	45.1	47.6	54.5
⑦その他	0.0	15.4	4.4	3.6	3.1	4.7	3.2	5.9	7.0	14.3	9.1

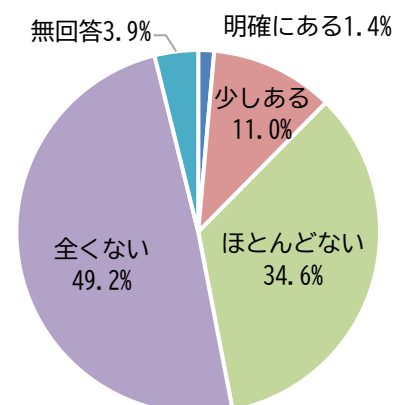
問 26 あなたはこの数年間で自分の声が市に届いたと感じた経験はありますか。

市に声が届いたと感じた人（「明確にある」と「少しある」の合計）の割合は12.4%であった。市に声が届かないと感じた人（「ほとんどない」と「全くない」の合計）を合わせると8割を超えている。特に50歳代では市に声が届かない人の割合が90.6%で最大となっている。

問 23 の市政への関心の有無でクロス集計したところ、声が届いた層では、市政への関心の有無によって大きな差が生じている。市政に関心がある人に対して声を届きやすくする仕組みの構築が必要であり、市政に関心のない層に対しては、関心を高めるための情報発信が必要と考えられる。【課題】

単位：％

区 分	割合
明確にある	1.4
少しある	11.0
ほとんどない	34.6
全くない	49.2
無回答	3.9



<市政への関心とのクロス集計>

単位：％

区分	市政に関心がある	市政に関心がない
市に声が届いた	10.8	1.4
市に声が届かない	47.1	35.6

※無回答の割合を除く。

<年代別>

単位：％

区 分	高校生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
明確にある	2.5	0.0	2.2	0.9	1.9	1.2	1.4	2.0	0.7	0.0	0.0
少しある	7.5	30.8	17.8	9.9	11.1	6.4	10.1	11.3	15.5	9.5	9.1
ほとんどない	42.5	38.5	24.4	31.5	32.1	32.7	42.2	38.4	27.5	19.0	36.4
全くない	47.5	30.8	51.1	56.8	50.6	57.9	45.0	43.8	45.8	66.7	27.3
無回答	0.0	0.0	4.4	0.9	4.3	1.8	1.4	4.4	10.6	4.8	27.3

問 27 あなたは養父市で地域活動やまちづくり活動（区、自治協、市民サークル、NPO等の活動や行事）に参加していますか。

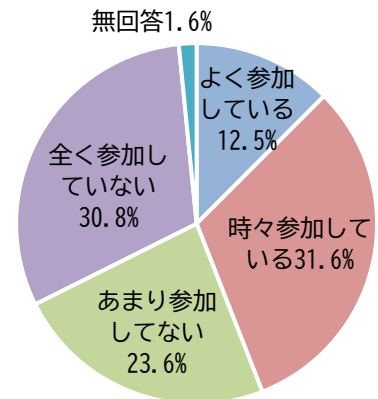
地域活動等に参加している人（「よく参加している」と「時々参加している」の合計）の割合は44.1%、参加していない人（「あまり参加していない」と「全く参加していない」の合計）の割合は54.4%となっている。

問 23 の市政への関心の有無でクロス集計したところ、参加していない人の層では大きな差がみられない一方、参加している人の層では関心がある人が関心のない人の約3倍の差が見られた。

ここでも市政への関心の高さと市民の行動が関連していることがうかがえる結果となった。

単位：％

区 分	割合	計
よく参加している	12.5	44.1
時々参加している	31.6	
あまり参加していない	23.6	54.4
全く参加していない	30.8	
無回答	1.6	—



<市政への関心の有無とのクロス集計>

単位：％

区分	市政に関心がある	市政に関心がない
地域活動等に参加	33.0	10.1
地域活動等に不参加	26.2	27.6

※無回答の割合を除く。

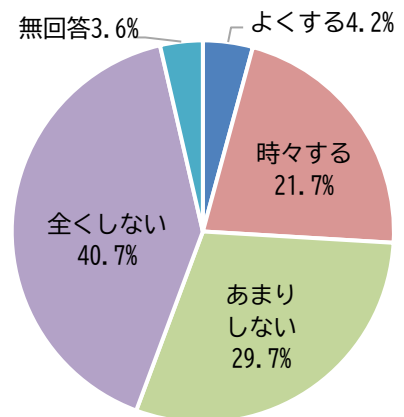
問 28 あなたは防犯や安全・安心のために地域の子どもたちや高齢者等の見守りを行うことがありますか。

見守りを行っている人（「よくする」と「時々する」の合計）の割合は25.9%、見守りをしていない人（「あまりしない」と「全くしない」の合計）の割合は70.4%となっている。

問23の市政への関心の有無でクロス集計したところ、見守りしない人の層では大きな差がみられない一方、見守りを行っている人の層では関心がある人が関心のない人の約3倍の差が見られた。

単位：％

区 分	割合	計
よくする	4.2	25.9
時々する	21.7	
あまりしない	29.7	70.4
全くしない	40.7	
無回答	3.6	—



<市政への関心の有無とのクロス集計>

単位：％

区分	市政に関心がある	市政に関心がない
見守り活動に参加	19.0	6.5
見守り活動に不参加	38.7	30.8

※無回答の割合を除く。

問 29 次のうち、日常的に（毎日）使用しているデジタル機器をお答えください。（複数回答可）

60歳代以下のスマートフォン使用率は90%以上と高い。70歳代以降のスマートフォン使用率も年々増加している。

<年代別>

単位：％

区分	スマートフォン	パソコン	タブレット端末	携帯ゲーム機	ウェアラブル端末	使用していない
高校生	100.0	20.0	62.5	27.5	7.5	2.5
10歳代	100.0	46.2	38.5	7.7	0.0	0.0
20歳代	95.6	42.2	24.4	8.9	2.2	0.0
30歳代	98.2	47.7	22.5	12.6	17.1	0.0
40歳代	95.1	44.4	24.7	12.3	12.3	1.9
50歳代	96.5	48.5	19.3	4.1	5.3	2.3
60歳代	93.6	43.1	17.4	0.0	5.0	4.1
70歳代	81.3	33.5	8.4	2.5	3.0	14.8
80歳代	45.8	19.0	2.1	1.4	2.8	39.4
90歳代以上	23.8	9.5	0.0	0.0	0.0	66.7
無回答	63.6	9.1	0.0	9.1	0.0	18.2
総計	85.3	38.1	17.3	5.7	6.4	10.5

問 30 あなたは市政に関する情報を特にどの手段で入手していますか。（上位3つまで）

「広報やぶ」と回答した人が81.4%で最も多く、次いで「ケーブルテレビ」と回答した人が38.7%であった。LINEの登録は30代～60代までが高く、他の世代と比べ大きな差があることが分かる。

<年代別>

単位：％

区分	広報やぶ	市HP	CATV	防災告知システム	市公式LINE	市公式Facebook	市公式Instagram	外部メディア	特になし	その他
高校生	45.0	17.5	42.5	20.0	0.0	0.0	7.5	5.0	25.0	2.5
10歳代	53.8	30.8	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4	7.7
20歳代	57.8	24.4	24.4	15.6	8.9	4.4	8.9	11.1	17.8	4.4
30歳代	75.7	24.3	32.4	18.0	21.6	1.8	11.7	9.9	4.5	0.0
40歳代	79.6	29.0	34.0	20.4	22.2	4.9	6.8	9.9	7.4	1.2
50歳代	83.0	21.6	30.4	21.6	24.6	4.1	2.9	12.3	2.3	1.2
60歳代	87.6	16.1	40.8	22.9	22.0	2.3	2.3	11.0	2.8	1.4
70歳代	90.1	9.9	47.3	20.2	2.5	2.0	1.0	20.7	3.4	1.0
80歳代	84.5	4.9	50.0	19.7	1.4	0.7	0.0	16.9	7.7	2.1
90歳代以上	76.2	0.0	38.1	23.8	0.0	0.0	0.0	14.3	9.5	4.8
無回答	81.8	18.2	27.3	36.4	0.0	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0
総計	81.4	17.3	38.7	20.6	14.2	2.6	3.9	13.3	6.0	1.5

問 31 市政情報をより受け取りやすくするためにどの手段を充実してほしいですか。

市政情報の入手手段と充実してほしい媒体を比べると既存媒体が減少している中、LINE、Instagram、ホームページの「充実してほしい」割合が大きく増加している。ただし、Facebook は微増にとどまっている。

問 30 と問 31 で現在、市政情報を入手している媒体と今後充実してほしい媒体を比較すると、広報やぶ（△18.9 ポイント）、防災告知システム（△6.2 ポイント）、ケーブルテレビ（△4.1 ポイント）などが減少している一方、LINE（6.6 ポイント）、Instagram（6.5 ポイント）、市HP（4.2 ポイント）などSNSやHPなどウェブ上の媒体の充実が若い世代で特に求められている。

<年代別>

単位：%

区 分	広報 やぶ	市 HP	CATV	防災告知 システム	市公式 LINE	市公式 Facebook	市公式 Instagram	外部 メディア	その他
高校生	37.5	22.5	40.0	15.0	12.5	0.0	32.5	22.5	5.0
10 歳代	38.5	61.5	15.4	23.1	30.8	7.7	15.4	7.7	0.0
20 歳代	35.6	26.7	24.4	4.4	28.9	0.0	26.7	17.8	2.2
30 歳代	41.4	24.3	18.0	9.0	33.3	6.3	24.3	13.5	0.9
40 歳代	55.6	30.9	21.6	11.7	37.0	6.2	22.8	7.4	0.6
50 歳代	55.6	28.1	28.7	9.9	29.2	3.5	9.4	12.3	3.5
60 歳代	70.2	21.6	39.0	19.3	22.0	3.7	4.1	11.9	3.2
70 歳代	79.3	14.8	43.3	18.2	5.9	2.0	1.0	14.3	0.5
80 歳代	74.6	9.2	52.1	14.8	3.5	0.7	0.0	14.8	1.4
90 歳代以上	85.7	0.0	38.1	23.8	4.8	0.0	0.0	23.8	0.0
無回答	54.5	9.1	45.5	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
総計	62.5	21.5	34.6	14.4	20.8	3.3	10.4	13.0	1.8

問 32 あなたは SNS など養父市の魅力を発信することができますか。

養父市の魅力を発信している人（「よくする」と「時々する」の合計）の割合は 7.4% で昨年度の 6.9% と比べ 0.5 ポイント増加した。ただし、よくするは 0.6 ポイント減少している。

単位：%

区 分	R7	R6	R5
よくする	0.7	1.3	1.1
時々する	6.7	5.6	6.5
あまりしない	13.7	11.0	15.5
全くしない	76.9	80.2	75.3
無回答	2.0	1.8	1.7

問 33 あなたが感じる養父市の魅力を教えてください。(〇は3つまで)

養父市の魅力を聞いたところ、第1位は「自然が豊か」で75.0%、第2位は「子育て支援が充実」21.5%、第3位は「総合病院がある」19.8%、第4位は「特産品が多い/おいしい」19.2%で続いている。一方、「教育環境が充実」「防災意識が高い」はともに3.3%で市の魅力という観点からは低い割合となっている。

単位：%

区 分	高 校 生	10 歳 代	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 代	80 歳 代	90 歳 代 以 上	総 計
自然が豊か	85.0	92.3	91.1	71.2	77.2	79.5	76.6	70.9	64.1	71.4	75.0
様々な観光名所	12.5	15.4	4.4	7.2	12.3	11.7	10.1	9.9	9.2	9.5	10.3
特産品が多い/おいしい	42.5	46.2	26.7	35.1	22.8	18.1	16.5	10.8	9.9	14.3	19.2
歴史あるまちなみ	2.5	15.4	4.4	1.8	2.5	4.1	2.3	5.9	3.5	0.0	3.5
伝統ある文化財	7.5	7.7	8.9	3.6	8.0	3.5	5.5	7.4	7.7	0.0	6.2
子育て支援が充実	47.5	15.4	33.3	46.8	32.1	18.7	20.6	9.9	2.8	14.3	21.5
教育環境が充実	5.0	7.7	6.7	2.7	5.6	0.0	2.3	4.9	2.8	4.8	3.3
農林業の仕事が多い	2.5	15.4	8.9	4.5	4.9	7.0	2.8	4.9	2.1	0.0	4.5
防災意識が高い	0.0	7.7	0.0	0.9	1.9	3.5	2.8	5.4	6.3	0.0	3.3
総合病院がある	5.0	7.7	11.1	6.3	13.0	15.8	17.4	33.5	32.4	19.0	19.8
介護サービスが充実	2.5	0.0	2.2	1.8	3.1	10.5	15.6	20.7	30.3	33.3	13.5
地域コミュニティ	12.5	7.7	8.9	5.4	11.1	11.1	8.7	7.4	9.9	9.5	9.1
その他	0.0	0.0	0.0	4.5	5.6	4.7	5.5	3.9	3.5	4.8	4.2

問 34 次の中であなたが「養父市が力を入れている施策」として思い浮かぶものを選んでください。(3つまで)

養父市が力を入れている施策として、「子育て支援」と回答した人の割合が 38.3%で最も多く、次いで「文化芸術等ホール事業」が 20.1%、「自治協活動の推進」が 17.3%と続いている。

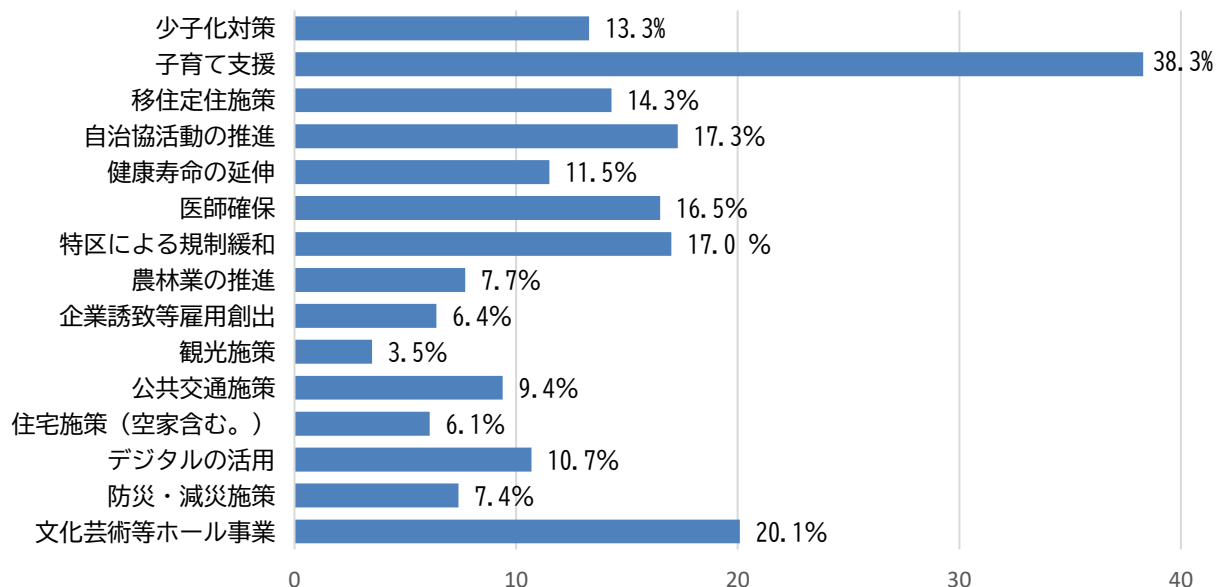
年代別では、高校生、10 歳代の層で「子育て支援」が特に高く、「文化芸術等ホール事業」では、高校生や 50 歳代が多いなど特に傾向は見えなかった。「自治協活動の推進」では 60～80 歳代で高くなっている。

また、「観光施策」3.5%、「住宅施策（空家含む）」6.1%、「企業誘致等雇用創出」6.4%といずれも低く、養父市が力を入れている施策とは認識されていないことが分かった。特に「企業誘致」は問 35 の人口減少に対して有効で優先順位の高い施策で第 1 位となっていることから、市民が必要だと思っているのに市の取組が不足していると思われる施策であることが明らかとなっている。【課題】

<年代別>

単位：%

区 分	高校生	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代以上	無回答	総計
少子化対策	10.0	23.1	11.1	14.4	15.4	11.7	9.6	12.8	17.6	28.6	0.0	13.3
子育て支援	75.0	76.9	53.3	59.5	48.1	34.5	38.5	26.1	16.9	33.3	0.0	38.3
移住定住施策	12.5	15.4	28.9	17.1	21.0	17.0	15.6	9.4	5.6	0.0	0.0	14.3
自治協活動の推進	0.0	7.7	11.1	9.9	9.3	14.6	21.6	28.1	23.9	9.5	0.0	17.3
健康寿命の延伸	2.5	15.4	6.7	5.4	7.4	8.2	14.2	14.3	18.3	33.3	0.0	11.5
医師確保	10.0	7.7	2.2	6.3	11.7	15.2	14.2	27.6	23.9	33.3	18.2	16.5
特区による規制緩和	20.0	7.7	8.9	10.8	21.6	21.1	19.3	14.3	12.0	23.8	36.4	17.0
農林業の推進	7.5	7.7	24.4	13.5	8.0	6.4	4.1	5.9	6.3	9.5	9.1	7.7
企業誘致等雇用創出	2.5	0.0	0.0	4.5	7.4	6.4	5.0	7.4	9.9	14.3	9.1	6.4
観光施策	5.0	7.7	6.7	2.7	5.6	2.9	1.8	3.9	2.8	4.8	0.0	3.5
公共交通施策	2.5	15.4	4.4	8.1	5.6	8.8	13.8	9.9	12.7	0.0	9.1	9.4
住宅施策（空家含む）	7.5	7.7	2.2	4.5	6.2	4.1	5.5	8.4	7.0	9.5	9.1	6.1
デジタルの活用	17.5	23.1	11.1	16.2	12.3	14.0	13.8	4.4	4.2	0.0	0.0	10.7
防災、減災施策	15.0	15.4	6.7	7.2	4.9	7.0	7.3	8.9	7.0	4.8	0.0	7.4
文化芸術等ホール事業	25.0	7.7	13.3	24.3	12.3	24.6	23.9	20.7	16.9	14.3	18.2	20.1



問 35 養父市の人口減少に対して有効で優先順位が高いと思う施策を教えてください。(5つまで)

「企業や工場の誘致」と回答した人の割合が 39.3%で最も多く、次いで「買い物等移動支援」が 37.9%、「出産等人口増への支援」が 37.5%と続いている。

年代別では、50～80 歳代の層で「企業や工場の誘致」が特に高く、「買い物等移動支援」では、高校生、10 代、20 代で高くなっている。

また、「デジタル人材の育成」、「関係人口の増加施策」、「郷土愛を育む環境整備」はいずれも低く、人口減少に対しての施策としては優先順位が低いと思われることがうかがえる。

<年代別>

単位：%

区 分	高校生	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	無回答	総計
男女の出会いの場の創出	7.5	38.5	17.8	21.6	16.0	24.6	22.9	25.1	26.1	52.4	9.1	22.9
若者向けの住居の整備	32.5	7.7	31.1	25.2	19.1	13.5	14.2	10.3	13.4	14.3	18.2	16.5
公園などの遊び場	42.5	0.0	28.9	42.3	23.5	13.5	17.4	15.3	5.6	14.3	27.3	19.6
大学進学費用の支援	55.0	53.8	26.7	24.3	31.5	18.7	10.1	9.4	9.2	4.8	27.3	18.6
出産等人口増への支援	22.5	15.4	42.2	37.8	35.8	35.7	43.1	36.9	37.3	38.1	9.1	37.5
企業成長による雇用創出	12.5	15.4	17.8	26.1	35.2	32.7	34.9	33.0	31.0	23.8	18.2	31.2
企業や工場の誘致	20.0	15.4	17.8	31.5	33.3	43.9	44.0	42.4	46.5	33.3	54.5	39.3
Uターン採用枠拡大を支援	5.0	15.4	13.3	5.4	6.8	6.4	11.5	13.3	13.4	9.5	9.1	9.9
女性活躍の強化を支援	0.0	0.0	13.3	5.4	4.9	5.3	4.1	2.5	4.2	4.8	0.0	4.4
地元で働く若者を支援	37.5	53.8	46.7	34.2	29.0	30.4	33.5	29.1	28.9	38.1	36.4	32.4
起業支援の充実	10.0	0.0	6.7	8.1	12.3	7.0	6.9	3.9	6.3	0.0	0.0	7.1
農業への参加支援	5.0	0.0	17.8	2.7	11.7	10.5	12.4	13.3	9.9	23.8	18.2	11.1
観光施策の充実	15.0	0.0	6.7	6.3	11.1	11.1	4.1	4.9	8.5	4.8	27.3	7.8
買い物等移動支援	40.0	46.2	42.2	36.0	31.5	38.0	45.9	37.4	31.0	28.6	36.4	37.9
交通移動の環境整備	52.5	53.8	24.4	23.4	20.4	30.4	30.3	25.1	34.5	14.3	0.0	28.3
中心部への移住支援	0.0	7.7	4.4	4.5	5.6	6.4	4.1	3.4	4.9	4.8	9.1	4.7

郷土愛を育む環境整備	0.0	0.0	2.2	3.6	3.1	4.7	4.1	4.4	6.3	4.8	0.0	4.1
飲食店等を誘致する	42.5	38.5	28.9	30.6	25.9	24.6	27.5	19.2	16.9	0.0	18.2	24.7
デジタル人材の育成	7.5	7.7	4.4	0.9	6.8	2.9	3.7	2.0	2.1	0.0	9.1	3.5
移住者の受入れ組織設立	5.0	7.7	4.4	8.1	9.9	8.2	12.4	15.8	16.2	14.3	9.1	11.5
関係人口の増加施策	0.0	0.0	2.2	0.0	4.9	4.1	5.5	2.0	5.6	9.5	0.0	3.7

